

現代経済事情Ⅱ

日本の中小企業とアジア経済

高田好章

○「アウトソーシングの経済学」を考える

out-sourcing 外部調達；（業務の）外部委託，アウトソーシング. 下請けからの新たな展開へ

理論的問題：生産力と生産関係 生産手段：労働力、人と物、労働手段と労働力 分業、協業、下請け

人事：アウトソーシング 労働者：下請け工、社外工、臨時工、派遣社員

概念規定：物のアウトソーシング、人のアウトソーシング システムのアウトソーシング：物・人

昔からのアウトソーシング： 物流：倉庫・運送

製造業が製造業でなくなるとき：商品の企画のみ、人もいなくなる 戦争までアウトソーシング

人材派遣業：人のアウトソーシング 派遣労働者の専門化 = 二極化

専門化に対応している（できる）派遣労働者

専門化に対応していない（できない）派遣労働者 = 製造業への派遣 = 日雇い労働者

個人請負：個人事業主といいながら、実体は日雇い労働者 頭と足：足のとりかえ

オフショアリング：IT部門、間接部門 米国→インド・中国 海を渡らないハイテク移民

部品メーカーと生産ライン：自動車メーカー：セットメーカーの生産工程に部品メーカーが入り込む

電子機器受注産業：EMS 東アジアでの展開、日本での展開

台湾メーカーによるノートパソコンOEM・ODM生産

一般的な生産機能の流れ

企画・マーケティング→基本設計→試作品開発→量産設計→[生産→検査→出荷]→消費者

EMS企業の分担（四角内）

企画・マーケティング→基本設計・試作品開発・量産設計・生産・検査・出荷→完成品引渡

↑ セットメーカー

↑ 部品メーカー 必要な部品を調達

EMSの特徴 1) 資本系列などの関係なく複数のセットメーカーから同じカテゴリーの製品を受注する 2) 受注先の製造部門を完全に引き受ける水平分業の関係 3) 製造に必要な部品の自社調達を行う 4) 受注範囲が設計・試作から生産（組立）、検査、配送、修理まで広く生産工程に深く関わる 5) コンピュータや情報通信機器など特定のエレクトロニクス機器に強い 6) 大量ロット生産を得意にしている

EMSとOEMの違い：EMSがメーカーの企画した製品の生産を請け負うのに対して、OEMはメーカーの自社開発・生産した製品を相手先ブランドで提供する

EMSと協力工場の違い：EMSがメーカーの生産部門を“丸ごと”引き受けるメーカーとの水平関係であるのに対して、協力工場はメーカーの生産機能を“一部”引き受ける垂直関係に位置している

企業の原点は内製化： 技術の蓄積 組み合わせ商品と独自商品 求人、正社員重視鮮明に？

○今週の元気企業： 斉田製作所（東京都あきる野市） イモねじ製造・販売

○ビデオ鑑賞：NHKスペシャル「フリーター漂流 ～モノ作りの現場で～」(後半) NHK 2005年2月5日放送

○参考文献：藤坂浩司『EMS』日本実業出版 2001年、糸園辰雄『日本の社外工制度』ミネルヴァ書房 1978年、深田俊祐『新日鉄の底辺から』三一書房 1971年、本山美彦『民営化される戦争』ナカニシヤ出版 2004年、P.W.シンガー『軍事請負会社』NHK出版 2004年

質問・意見等は、高田のE-mail: ytakada@komazawa.com まで。

講義レジュメ、講義スライドの掲載ホームページ: <http://user.komazawa.com/~ytakada/kougi/>